

(様式2)

平成 30 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590500102
法人名	株式会社 スワロー
事業所名	ももの木かしわぎき グループホーム和奏
所在地	新潟県柏崎市元城町1-46-2
自己評価作成日	平成31年1月20日
評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kai.gokensaku.mhl.w.go.jp/15/1/ndex.php?act=on_kouhyou_detai1_2018_022_kani-true&amp;Ji.gyosyoCd=1590500102-00&amp;PrEfCd=15&amp;Ver=si_onCd=022">http://www.kai.gokensaku.mhl.w.go.jp/15/1/ndex.php?act=on_kouhyou_detai1_2018_022_kani-true&amp;Ji.gyosyoCd=1590500102-00&amp;PrEfCd=15&amp;Ver=si_onCd=022</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2
訪問調査日	平成31年2月26日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

各利用者様が残存機能を活かし、各々身体能力に合わせて穏やかに毎日を通して頂けるよう、また認知症であっても役割を持ち、生きがいを感じながら過ごして頂けるよう個別ケアに重点を置いております。可能な限りやれる事はご自分でやって頂くよう働きかけながら、あくまでも主役は利用者様と考え、毎日ケアを行っております。活動の一環としては定期的に給手紙の先生から訪問して頂いて作品を作成したり、複数のお話ボランティアの方に訪問をお願いしたり、イベント時には語り部の会のボランティアもお願ひしております。また4月から12月までは、地域高校福祉課の実習の場として生徒さんの受け入れを行ったり、地域小学校との交流も実施しております。昨年は小学校の生徒さんの慰問行事を実施し、利用者様には大変喜んで頂きました。また小学校の音楽祭に招待して頂き、見学をさせて頂きました。他にも小規模ももの木かしわぎきとの交流を積極的に行っており、ボランティアの方の訪問時は一緒に見学させて頂いたり、和奏でボランティアの方の訪問があれば小規模に声をかけ利用者様に来て頂く等、垣根のない交流を行っています。イベントの終了後にはボランティアの方と利用者様とで交流が図れるように茶話会を開催したり、次回に繋がるよう気軽に来訪して頂けるような雰囲気作りを大切にしております。利用者の皆様が穏やかに安心して生活できるよう、生きがいと役割を持って楽しく生活できるようサポートし、地域住民の一員として地域の活動にも積極的に参加し、開かれた施設を目指しているという所が、事業所の特に力を入れている点であり、アピールをしたい点です。ももの木かしわぎきグループホーム和奏ではたとえ介護が必要な状態になっても『安心して住み慣れた自宅や地域で暮らしたい』という利用者様の願ひを受け止め、ここが『二つ目の我が家』として受け入れて頂けるよう、落ち着いた雰囲気の中でゆっくりとくつろげる場所を提供しております。また利用者様の生きる喜び、生きる意欲を持続できる事を念頭に置き、より良いサービスを提供してまいります。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○地域に開かれた事業所を目指した取り組み  
事業所は集落から少し離れたところにあるが、地域住民の一員として地域の行事やお祭りに参加したり、地元の小学校との相互交流、高校生の実習受け入れ、ボランティアの訪問等、日頃より地域住民との交流に積極的に力を入れている。運営推進会議は、併設の小規模多機能事業所と合同で行われ、自治会長や民生委員との連携も図られている。また、防災面でも地域の消防団や自治会長と連携して防災訓練を行い、地域の防災訓練にも職員が参加して災害時の協力体制構築に努める等、地域との繋がりを大切にして地域に開かれた事業所を目指して取り組んでいる。

#### ○働きやすい職場づくりに向けた取り組み

管理者は、シフトの中でも負担の大きい夜勤帯の勤務体制について、職員個々の希望を確認する中で業務の見直しが管理者を中心に行われ、多様な勤務形態から選択できるシフト体制を整えている。それにより、職員の心身の負担軽減に繋がるとともに、働き続けるための具体的な労働環境の整備が行われている。

#### ○職員のスキルアップのための研修体系

職員研修に力を入れ、系列施設での研修、内部研修、外部研修へ職員は参加している。外部研修の情報は職員に伝え、希望の研修があれば勤務調整を行い参加できるように配慮している。また、キャリア形成訪問支援事業を活用した外部講師を招いた研修も行われている。必要な研修では、複数回開催することで全職員が参加できるようにしている。外部研修に参加した職員が講師となり、参考資料を基に配布資料を作成して伝達研修を実施することで、研修で学んだことをしっかり自分のものに出るようになっていく。職員がスキルアップやモチベーションを高く持ち、より一層のサービス向上に向けて大いに期待される事業所である。